Gakusei Tantousha Hou

学生担当者報 3

－Vol.325－

発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／吉川万寿彦　編集責任者／松村孝吉
[TEL]0743-63-1511（内線5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.jp　[TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教177年
平成26年2月25日発行

一人でも多くの学生に声掛けを

学生部　部長　飯降　信

先日、奈良の近鉄西大寺駅で、電車を乗り換えた際に、同じ電車から白い杖をついた中年の女性が降りてきました。目が不自由な方で、足取りが少し心配でしたが、自分のペースで歩かれる方がいいのかなと、声掛けを躊躇していました。すると一人の中年男性が現れ、その女性に自分の肩を貸して階段の手すりのところまで誘導し、さりげなく去っていきました。階段を上り切ったところで、その女性は次に進む方向をさぐっているようでした。少し後ろにいた私は、今度こそ声を掛けようとタイミングをはかっていました。その時、年配の女性が現れ一言話しかけ、二人で改札の方に向かって歩いて行きました。声を掛けなければと思いつつ、でもお節介にならないようにと、遠目でタイミングをはかっている私とは対照的なお二人のさりげない行動でありました。

「周囲に心を配り」何からでもおたすけの実行が促される今、ちょっとした躊躇によって、声掛けのタイミングを逃してしまうことがよくあります。「…この人ににをいを掛けんならんと思えば、道の辻で會うても掛けてくれ。これからこれが仕事や。…」（明治四十年四月七日）というお言葉もありますが、今この旬、躊躇して逃してはもったいない。迷うくらいならお節介を、そうでないと後悔してしまうなと思った次第です。

今年も三月二十八日、「春の学生おぢばがえり」（春学）が開催されます。これまでの「春学」は、年祭の年に開催された「学生おぢばがえり大会」を除くと、五千六百八十名が過去最高の参加者数でありました。今年、道の学生たちは、大きなうねりを起こすべく六千名の参加という目標を掲げ、現在、三月二十八日に向けて最後の勧誘に走り回っています。我々担当者にとっても、学生会の動きを後押ししつつ、学生さんに声を掛けていく絶好の機会であります。こどもおぢばがえり参加経験者をも頭に浮かべながら、一人でも多くの学生さんへ春学に参加するよう、お声掛けをよろしくお願いします。

立教177年　学生担当委員会　活動方針
『おたすけの喜びを学生に！』～あらきとうりよう・みちのだいとして共に育とう～

お知らせ

三月例会

・期日　立教177年3月25日
・時間　15時半受付　16時開始
・場所　教庁4階講堂

学生層育成者講習会 日程・会場案内

【直属】
・芦津　3月23日12時15分～　大教会

報告

一月例会

去る1月25日教庁4階講堂に於いて「一月例会」を開催。出席は45教区、111直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
・和歌山　1月28日　教務支庁　18名　飯降委員出向
・兵庫　1月30日　教務支庁　70名　吉川委員長出向
・秋田　1月31日　教務支庁　7名　飯降委員出向
・大阪　1月31日　教務支庁　53名　吉川委員長出向

人事

《立教176年1月25日》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・今井隆行（西陣・彌榮）
・木村辰哉（津輕・北青圃）
・山田正広（新潟・萬盛）
・小森寛司（東肥・京都）
・伊藤俊一（山陽・美峯）
・西田大雄（和爾・蔵之庄）

業務記録

《立教177年1月16日～立教177年2月15日》
1月17日　学生会50周年プロジェクト会議
18日　学生会（直属部）との連絡会
　学生部部会
20日　事務局連絡会
21日　屋外プログラムチーム会議
22日　『Happist』納品
明日のＨＡＲＰ会議
23日　『Happist』梱包
25日　委員会
　例会
　新任教区委員長懇談会
　出版部部会
26日　広報室会議
27日　学修大学の部事前研修会（～29日）
29日　人材育成部部会
2月4日　屋外プログラムチーム会議
5日　春学プロジェクト会議
6日　出版部部会
8日　学生会（直属部）との連絡会
10日　学生会（教区部）との連絡会
　学生部部会
13日　まなびば研究室会議
　屋外プログラムチーム会議
　担当者活動部部会
　ビデオチーム会議
14日　学修大学の部研究室会議
15日　委員会
　学修高校の部研究室会議

学生生徒修養会　大学の部　スタッフ事前研修会

来る三月三日から九日まで開催される学生生徒修養会大学の部に先立ち、一月二十七日から二十九日にかけて、本部第十二母屋、八・九母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を開催し、塾運営スタッフ、カウンセラーなど二百二十名が参加した。

今年も、学生の信仰的な段階を考慮して、きめ細やかな丹精ができるよう、初めて受講する学生を対象とする初回者塾「よふき塾」「まこと塾」「いさみ塾」、二回目受講で三年生以下の学生を対象とするリピーター①「つなぎ塾」、三回目以上受講の学生と二回目受講の四年生以上を対象とするリピーター②「みのり塾」の五塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に、各班に男女のカウンセラーがつき、育成にあたる。

研修会では、「カウンセラー及びスタッフの心得」についての講義。また、男女に分かれて「婦人会員・青年会員としての自覚」の講義とねりあい、さらに「おてなおし」や本期間に実施される「グループタイム」でのエクササイズの実習、また係ごとの打ち合わせを行った。

最終日の講話において吉川委員長は、「こちらが話をして分かってもらうのではなく、しっかり学生の話を聞いて、心の支えになれるよう務めてもらいたい」と、学生への心配りについて話し、続いて「あらきとうりよう・みちのだいとして、たとえ立派な姿でなくとも、共に頑張っていると言う姿を映していってもらいたい」と話した。

そして、「本期間までの間、一人でも多くの受講生を連れて参加するという意気込みをもって学生に声をかけてもらいたい」と締めくくった。スタッフは各々にこの研修会を通して感じたことを心に置いて、本期間までしっかり励む心を定め、研修会は閉講した。

青空

昨夏、「Happist」で学修高校の部の特集を担当した。期間中の写真を振り返り見ていると、初日は不安と緊張でこわばっていた学生達の表情は、日を追うごとに輝く笑顔へと変わっていく。最終日には別れを惜しみ涙を流して…。退寮式の写真まで見進めた頃には、まるで、私もずっとそばで学生達を見守ってきたスタッフのような気持ちになり、思わずもらい泣きをしてしまった。そんな私も、高校時代の三年間学修に参加させていただいた。

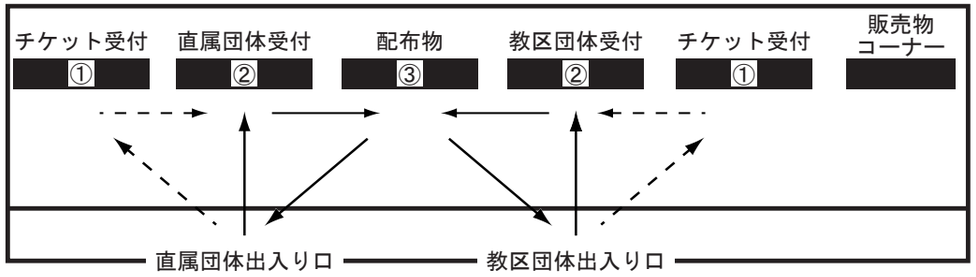
学担の御用にあたる中、行事の裏側で学生のためにと心を尽くすスタッフの姿を何度も目の当たりにしてきた。そのたびに、学生の時、私もこうしてたくさんの方々の親心の中で育んでいただいたのだと、感謝の気持ちで胸がいっぱいになった。

学生達の笑顔や感動、思い出を形に残す。そんな素晴らしい御用をお与えいただけたことは本当にありがたく、もったいなく、幸せな日々だったと感じる。業務においても信仰面においても、二年ばかりではまだまだ未熟で勤め足りないと心残りもあるが、学担でお仕込みいただいたことが次に待つ新しい場所でのおたすけに必ずつながっていくと信じている。お世話になった方々のご恩に少しでも報いることができるよう、今後も精一杯つとめていきたい。

出版部局員　三枝春菜

立教177年 春の学生おぢばがえり 受付について

◆受　付　日　時　：　3月27日（木）15:00 ～ 18:15
◆参 加 票 返 却　：　3月27日（木）夕づとめ後 ～ 21:00　※直属のみ
◆受　付　場　所　：　春の学生おぢばがえり事務所（旧本部詰所）



※チケットを事前に申し込んでいる団体のみ①番窓口からお進みください

教 区 受 付

窓口①　模擬店チケット代金支払い、受け取り
窓口②　参加票（記入は学生層のみ）・配布物希望数記入用紙を提出
窓口③　団体用、参加者用（担当者を含む参加者人数分）資料受け取り
※団体参加報告書は、4月25日までにご提出ください。
※直属団体には参加票（直属控え）を返却しますので、必ず時間内にお越しください。

直 属 受 付

●団体参加の直属

窓口①　模擬店チケット代金支払い、受け取り
窓口②　参加票（記入は学生層のみ）・配布物希望数記入用紙を提出
窓口③　団体用、参加者用（担当者を含む参加者人数分）資料受け取り
※団体参加報告書は、4月25日までにご提出ください。

●団体を組んでいない直属

※教区から提出分の参加票と資料をお渡ししますので、夕づとめ後 ～ 21:00の間に必ずお越しください。

注 意 事 項

・参加人数の多い団体は、配布物が多くなりますので2人以上でお越しください。
・事務所へお越しの際、事務所前・東筋の駐停車はできません。
※15母屋北側駐車場か北2駐車場へ駐車をお願いいたします。
・教区・直属それぞれの参加票控えは、今後の活動の上にご活用ください。
※取り扱いにはくれぐれもご注意ください。
・事務所に販売物コーナーを設けますので、ご利用ください。
尚、時間は27日15:00～21:00、28日9:00～15:00となっております。

★詳しくは『引率のしおり』をご覧ください。

平成26年度　高校生の集い「まなびば」実施要項

１．主　　催　　教区学生担当委員会

２．名　　称　　高校生の集い『まなびば in ○○』
（○○は開催する地名など）

３．対　　象　　教区管内高校生

４．ね　ら　い　　人格形成の上で大切な時期にある高校生たちが、彼らの生活地域において、同世代の仲間とのつながりを深めながら、お道の教えにふれる場を与える。

５．内　　容
・本部から提示されたプログラムを実施してください。尚、３月例会で屋内プログラムガイドブック、４月例会で屋外プログラムガイドブックを配付します。
平成２６年度屋内プログラム
テーマ「おたすけ　～周囲に心を配ろう～」
平成２６年度屋外プログラム
テーマ「一手一つ　～たすけあい～」
・教区独自にテーマを設定し一泊二日のプログラムを実施しても構いません。但し、おつとめ、おはなし、グループワークは必ず組み込んでください。

６．開 催 時 期
・各教区で日程を決定してください。
・定期試験など高校生の予定を十分に考慮し、決定してください。
・各会との連携、日程調整を行ってください。

７．研　修　会
・本開催時のスタッフを対象にした事前研修会を必ず開催してください。
・「開催のてびき」を参照し、開催の２ヶ月前までに「事前研修会実施計画書」を提出してください。
・平成２６年度プログラムを行う場合は、本部研修会を受講したスタッフ、もしくは本部から派遣したスタッフが事前研修会のトレーナーを務めるようにしてください。
本部研修会日程
屋内プログラム（２月２６日～２７日）　屋外プログラム（４月２４日～２５日）
本部からのスタッフ派遣
本部から委員１名の他に、トレーナーが必要な場合はスタッフ若干名を派遣します。
「事前研修会実施計画書」の派遣を希望する欄に○を付けてください。

８．提 出 書 類
・「実施会場予定表」　…　２月２５日必着
・「事前研修会実施計画書」…　派遣の有無に拘らず、事前研修会開催２ヶ月前まで
・「事前研修会実施報告書」…　事前研修会開催後速やかに
・「実施計画書」　…　本開催２ヶ月前まで
実施計画書の提出を受けて、参加者カード・アンケート・参加記念品等を配付します。
また、天理時報等による広報を図る上で大変重要な資料となりますので、確実に記入の上、ご提出ください。
・「実施報告書」「参加者カード」「アンケート」…３種揃えて本開催後速やかに

９．広　　報
・学生担当委員会のウェブサイト『TSA website』（http://tsa.tenrikyo.or.jp）にて「まなびば」の紹介ページを設けています。各教区開催予定を掲載したり、写真入りで「まなびば」を紹介しています。

立教177年〈屋外〉まなびば研修会のご案内

平素は、高校生の集い「まなびば」開催の上にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

この度「まなびば」の活性化、また学生層育成を担う人材づくりの上に、〈屋外〉まなびば研修会を開催いたします。まなびば担当者はもちろん、まなびばスタッフも是非ともご受講ください。

記

【日　　時】　立教177年4月24日（木）～25日（金）
集合･受付 …　4月24日 12：30
解散 …　25日 11：45
※25日、解散後に昼食券（本部食堂）をお配りいたします。

【会　　場】　本部第12母屋
※駐車は北2駐車場をご利用ください。（東1駐車場は別席者駐車場のため）

【対　　象】　・まなびば担当者
・まなびばスタッフ（各教区まなびば担当者を除く3名まで受講可）

【内　　容】　〈屋外〉まなびばの体験、進め方説明

【受 講 費】　2,000円　※まなびば担当者は免除

【携 行 品】　ハッピ、保険証、筆記用具、その他宿泊に必要なもの、防寒着、上下雨カッパなど（雨天でも野外活動できる装備）
※女性の方もズボン着用でご受講ください。
※夜の活動は冷えますので防寒対策をお願いします。

【申し込み】　申込用紙に必要事項を明記の上、受講費を添えて学生担当委員会事務局にお申し込みください。

【申込締切】　立教177年4月19日（土）

【問い合せ】　天理教学生担当委員会事務局
Tel　0743-63-2489（直通）　内線　5817

《まなびば担当者へ》
〈屋外〉まなびば研修会は、まなびば担当者研修会も兼ねておりますので、〈屋内〉まなびば研修会を受講できなかった方は本研修会を必ず受講いただきますようお願いいたします。
尚、〈屋内〉まなびば研修会を受講された方でもご参加いただけます。

Happist 4月号　予告

［特集］ぐるぐるランドリー　インタビュー　日本クリーニングケア協会会長 山﨑 勝

新連載
・教理コーナー
おやさまのお言葉を身近に　中山 慶治（本部員／本明實分教会長）
・東馬場先生と学ぼう！
Happistニュース　東馬場 郁生（天理大学国際学部教授）
・マンガ
空色カレイドスコープ　ニシカワヨウコ

センターカラー
開催報告
学生生徒修養会 大学の部

連載
・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　立川 理（天理教校本科実践課程講師）

明日につながる学生マガジン Happist 4

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会
イメージソング（作曲）大募集!!

教祖130年祭学生おぢばがえり大会のイメージソングの歌詞が「希望の花」に決定いたしました。
たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。
今回はこの歌詞をもとに作曲を募集いたします。皆さんのご応募をお待ちしています。

「希望の花」

僕らが出会ったこの親里（ばしょ）で
希望の花が咲き誇る

飛行機雲が浮かぶ青い空
隣には君の輝く笑顔
不安だって風に乗ってどこかへ飛んでいった

僕にできることはきっと
とっても小さなことだけど
君がいたから歩き出せた

僕らが出会ったこの親里は
いつでも明るい太陽（ひかり）がある
だから心は晴れわたる
みんな支えあって生きている

夜空に輝く星のように
僕にはたくさんの仲間がいる
喜びは分かち合い悲しみは喜びになるんだ

見渡してごらんよほら
君の隣にも仲間がいるから
みんなで手を取り歩き出そう

僕らが出会ったこの親里は
未来へ導く風が吹く
迷うことなどきっとない
一緒につかもう明日への鍵を

僕らが出会ったこの親里で
希望の花が咲き誇る
色とりどりの花びらが空高くへと舞い上がる
これから続く旅路への僕らが向かう道しるべ

Watch out!!
3月25日 必着
締切迫る!!

応募方法・問い合わせ先

- **楽譜は、五線紙に本譜で明確に記入し、歌詞はすべて音符の下に仮名で記入してください。**
- **音源は、CDまたは一般のパソコンで再生できる形式で送付してください。**
  ※楽譜、音源どちらかのみでも可。

作品に以下の情報を添えて郵送または、FAX、E-mailで送ってください。

- **住所、氏名、年齢、性別、職業（学校名）、電話番号（携帯可）、直属・所属教会**
- **学生会とのかかわり（現役学生、OB・OG問いません）**
- **曲への想い**

〒632-8790　天理郵便局私書箱１号　天理教学生担当委員会
TEL:0743-63-2489（直通）　FAX:0743-62-5780　E-mail:tsa-gaks@tenrikyo.or.jp
※審査結果はイメージソングの発表をもって代えさせていただきます。
※採用された作品は補作することがあり、当方で編曲する場合があります。また作品の著作権は、天理教学生担当委員会に帰属し、応募作品は返却いたしません。

第51期天理教学生会委員総会　開催要項

天理教学生会は昨年行われた組織改革に伴い、教区・直属学生が同じ組織のもとで活動することとなりました。この度、お道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、年祭に向けて一手一つに活動を進めていけるよう、委員総会を開催させていただきます。講話、ねりあいのほか、１日目には「ようぼくの集い」おやさと会場に参加させていただきます。何卒、貴教区・直属の学生リーダーにお声がけいただきますよう、よろしくお願いします。

【日　　程】　5月3日（土）～5月5日（月）

【受付時間】　5月3日（土）10時

【解散時間】　5月5日（月）17時（予定）

【宿　　舎】　本部第12母屋

【参加対象】　各教区・直属学生委員長及び学生リーダー（高校生から大学生の年齢層）

【参加定員】　各教区・直属3名まで（委員長・代表者が不在の場合でも3人参加可能）

【費　　用】　ひとり 2,000円（「ようぼくの集い」参加お供え500円を含む）
※当日にお持ちください

【持 ち 物】　参加費、保険証、筆記用具、ハッピ、傘、常用薬、合宿に必要なもの

【内　　容】　「ようぼくの集い」へ参加、ねりあい、講話、レクリエーション、第51期天理教学生会活動方針の決議、天理教学生会50周年について等

【締　　切】　4月19日（土）

【申し込み・問い合わせ先】
天理教学生担当委員会　〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
TEL 0743-63-2489
FAX 0743-62-5780
第51期天理教学生会委員長　大瀬　祐太
TEL 090-8234-1556